

生きるた



捨ててみ

「生きるために、捨ててみた」の面白い所は、女性芸能人のだいたひかるさんが、もし私  
が死んだら、夫にあと片付けをさせるのかと考  
え、いらぬ物や今の自分にあつていな物物を  
捨てたり、自分にあつた物を買つたりしていく  
所にある。

だいたひかるさんは、なぜこのように思った  
のかは、読んでいると分かつてくる。この話  
は、とても共感出来る所がたくさんある。例え  
ば、いざ物を捨てようと思つても、使い込んで  
愛着があるのなら手放したくないし、一方で  
使つていない物は、なんで買つてしまつたんだ  
ろうと後悔に追われたり、まだ使い道があるか  
もしれないと考えこんでしまつたり。とその繰  
り返しがある。

つまり、魅力は、『共感』というキーワード  
だ。この本は、自分の身の周りを綺麗に掃除す  
るきっかけとなる。何を捨て、何を残し、何を  
買えば良いか、書いてあるので、ぜひ、読んで  
自分は、何を捨てればよいのかの「何」を見つ  
けてもらいたい。